

記事掲載：2023年2月

翻訳：2023年2月

2億2200万人の危機状況下の子どもたちに緊急教育支援を



©Education Cannot Wait

国際 NGO プラン・インターナショナル CEO のスティーブン・オモロと、国連の緊急・長期危機における教育のための世界基金 ECW 事務局長のヤスミン・シェリフは、アイルランド国際開発担当大臣とのハイレベル会合で、世界中の危機に瀕した子どもたちが教育を受けられるよう支援する緊急資金の必要性を強調しました。

ダブリンで行われた、外務省の国際開発・ディアスポラ担当国务大臣であるショーン・フレミングとの一連のハイレベル会合とハイレベルパネルディスカッションにおいて、プラン・インターナショナル CEO は、ECW 事務局長とともに、緊急時の教育資金を増やし、すべての人が教育を受けられるよう、持続可能な開発のための 2030 アジェンダに示された約束を実行に移すよう指導者に要請しました。

オモロとシェリフは、政府代表との会談で、2月16～17日にジュネーブで開催される [ECW ハイレベル増資会合](#)への、アイルランドによる支援の重要性を強調しました。

「学校に行くことは、子ども、特に女の子にとって命綱です。しかし、世界中で、子どもたちはこの基本的な権利を否定されています。アフガニスタンでは女子教育がほぼ全面的に禁止され、悲劇的な結果を招いていると聞きました。しかし、女の子の教育を受けるといふ基本的権利の否定は、アフガニスタンにとどまりません。ウクライナから南スーダンまで、紛争により家族は安全を守るために避難を余儀なくされ、女の子の教育は妨げられています。実際、難民の子どもの半数は学校に通っていません」と、オモロは述べました。

「今、2億2200万人の危機的状況にある子どもや思春期の若者が緊急の教育支援を必要としており、その半数以上が女の子です。プラン・インターナショナルのような私たちの戦略的パートナーが、世界で最も脆弱な女の子や男の子に安全で希望に満ちた教育の機会を提供する活動を力強く継続できるように、ECW に十分に資金拠出されることが重要です」と、シェリフは述べています。

「あまりに多くの国で、飢餓や気候変動による異常気象、時にはこれらが重なることによって、教育が中断されています。女の子が学校から中途退学せざるを得なくなったとき、教育だけでなく、人生の機会が被害を受けます」とオモロは言います。「特に思春期の女の子は、暴力、搾取、早すぎる妊娠、早すぎる結婚や女性性器切除といった有害な慣習に対してより脆弱になります。実際、女の子が早すぎる結婚をする確率は、中等教育を1年受けるたびに6%ずつ減少します。危機的状況にある女の子は、そうでない女の子に比べて、約2.5倍も学校に通っていない可能性が高いことも分かっています」

オモロとシェリフは、アイルランド国立美術館で行われたパネルディスカッションに、アドボカシー担当者、政策立案者、実務家とともに参加し、この差し迫ったグローバル課題への取り組みにおけるアイルランドの役割について考察しました。パネルディスカッションには、アイルランド開発協力プログラム（Irish Aid）のマイケル・ガフィー事務局長、プラン・インターナショナル・ナイジェリアの社会プログラム長ラバン・オニシムス、プラン・インターナショナル・アイルランドの緊急下の教育アドバイザー、エミリア・ソレンティーノが参加。司会は、メイヌース大学学務副学長、学長補佐、副学長のエイダン・マルキーン教授が担当しました。

このイベントでは、紛争や気候変動などの危機により、教育支援を必要とする危機的状況にある子どもや思春期の若者の数が、これまでの推定値である2015年の7500万人から3倍に増加していることが強調されました。

COVID-19は、健康上の緊急事態がすべての子ども、特に女の子の学習に壊滅的な影響を与えることを、かつてない規模で示しました。パンデミックは、数十年にわたる開発の成果を脅かし、危機的状況にある子どもが最も危険にさらされています。パンデミックからの回復が進む中、全部で2,400万人の学習者が二度と学校に戻れなくなるおそれがあります。

気候変動は、より頻繁で深刻な気象災害を引き起こし、貧困、飢餓、強制移住のサイクルを続けさせています。実際、気候危機は毎年4,000万人の子どもたちの教育を妨げています。

紛争は移住を強い、子ども、特に女の子を、ジェンダーに基づく暴力、早すぎる結婚、その他の人権侵害の危険にさらすこととなります。

暴力と不安定の新たな種が出現するにつれ、女の子はこれまで以上に教育から排除される危険にさらされています。

こうした傾向は、経済、教育システム、国際協力を計り知れない圧力をかけます。それにもかかわらず、緊急事態や長期化する危機において、教育支援は深刻な資金不足に陥っています。2021年の世界の分野別人道支援予算に占める緊急時の教育への年間資金総額は、わずか2%でした。

今月、ジュネーブで開催される ECW ハイレベル増資会議に世界のリーダーたちが集まる際、プラン・インターナショナルと ECW は、アイルランドを含むドナー国政府に対して、教育への人道支援を直ちに増やすよう要請する予定です。ECW の 4カ年戦略計画では、15億ドルの追加資金を必要としており、これにより ECW とプラン・インターナショナルを含むその戦略的パートナーは、更に2000万人の子どもたちに手を差し伸べることができるようになります。

ECW の資金によって提供されるプラン・インターナショナルのプログラムは、より強靱な教育システムを構築し、ジェンダー不平等や排除に取り組むものです。女子教育は、女の子の平等につながるため、プラン・インターナショナルは実施のあらゆる段階で女の子のニーズを優先させます。

ハイレベル訪問の間、プラン・インターナショナルと ECW は、難民や国内避難民の子どもたちが見過ごされないようにすることの重要性を強調し、今年12月の世界難民フォーラムにおいて、避難民の子どもやユースへの包摂的で質の高い教育支援に向けて具体的に取り組むよう呼びかけを行います。

【翻訳前の記事（英語）】

[222 Million Crisis-Affected Children Urgently Need Education Support \(educationcannotwait.org\)](https://www.educationcannotwait.org)